

国際的な評価を受ける日本の障害者の優れた文化芸術を発信する全国巡回プロジェクト
～見聞 2017 ジャパン×ナント プロジェクトの全貌～

バリアフリー 映画祭inあいち

2017年9月17日(日) 13:00~16:30
名古屋国際センターNIC 別棟ホール

この映画祭は、大切な娯楽のひとつである映画鑑賞を通して、誰もが思いを共有しみんなで感動し合えることを目的としています。障害のあるなしに関わらず、感動を分かち合う楽しさは、福祉の枠を超えてコミュニケーションのきっかけとなり、人と人がつながる社会を創造することになると考えています。

これまでご覧いただけた機会の少なかった視角や聴覚に障害のある方、また高齢者の方々にも映画を楽しんでいただけるよう、副音声(音声ガイド)と日本語字幕をつけました。また、「障害のある人たちのために」という一方通行の発想ではなく、一般の方々にも一緒に作品を楽しんでいただけることを基本に、映画製作者が積極的に関わることによって、作品の新たな情報を加えたバリアフリー版となっています。

また、バリアフリー映画という概念が当たり前となった世の中では、その他の分野でも文化芸術と触れられる機会がより身近となり、私たちの暮らし全体が豊かなものになると確信しています。この映画祭を通して、バリアフリー映画を世界に発信し、地域の方とのつながりを深め、あらゆる立場にある人が幸せに生きる社会の実現に向けて活動を続けていきたいと思います。



[主催] 特定非営利活動法人DPI日本会議

特定非営利活動法人バリアフリー映画研究会

特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク

[共催] 社会福祉法人A.J.U自立の家

特定非営利活動法人楽笑

Aichi Artbrut Network Center

[後援] 愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会

(社)愛知県盲人福祉協会、(一社)愛知県聴覚障害者協会

愛知県知的障害者育成会、愛知県社会福祉協議会

名古屋市社会福祉協議会、名古屋手をつなぐ育成会

愛知県難聴・中途失聴者協会、愛知盲ろう者友の会(予定)

本プロジェクトは、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の委託により、
平成29年度オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査として実施しています。

参加

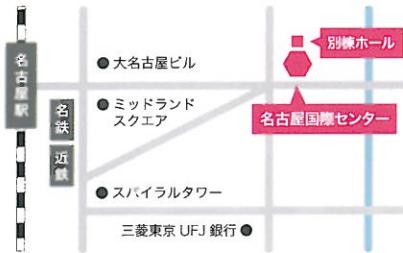
定員150名(入場無料)

※定員になり次第、受付を終了させて頂きますので予めご了承下さい。

アクセス

名古屋国際センターNIC別棟ホール
名古屋市中村区那古野1丁目1-47-1

TEL:052-581-5678



目が見えず、耳も聞こえない。

ドキュメンタリー映画『もうろうをいきる』

本作の監督は、学生団体SEALDsの活動を追った「私の自由について～SEALDs 2015～」が大きな注目を集めた西原孝至。

佐渡島の離島という環境の中で一人で暮らす女性、石巻市で震災と津波に遭いながらも地域で生きることを選んだ男性、柔道を続けながら結婚するために自立したいと願う広島の若い男性など、日本中の色々な地域で暮らす盲ろうの人たちの日常を追っています。

盲ろう者のことを映画にする。映像と音声で表現する映画にとって、これまでもっとも遠い存在だった人たち。不安を抱えながらも手探りで新しい一步を踏み出そうとしている人々の姿を、透徹した柔らかい眼差しで撮影しています。



シンポジウム「バリアフリー映画から始まる新しい映画のカタチ」



山上徹二郎 氏

NPO法人メディア・アクセス・サポートセンター 理事長 / 株式会社シグロ代表／映画プロデューサー

1986年にシグロを設立、以来80本以上の劇映画、ドキュメンタリー映画を製作・配給。ベルリン国際映画祭・銀熊賞をはじめ国内外の映画賞を多数受賞する。主な作品に、『しがらきから吹いてくる風』『絵の中のぼくの村』『まひるのほし』『花子』『沖縄 うりづんの雨』『だれかの木琴』など。最新作『もうろうをいきる』では、企画・製作を務める。びわこバリアフリー・アメニティー映画祭ディレクターのほか、NPO法人バリアフリー映画研究会やMASCを通してバリアフリー映画の制作、普及に努めている。



大河内直之 氏

東京大学先端科学技術研究センター特任研究員 / NPO法人バリアフリー映画研究会理事長

1973年、東京都生まれ。4歳で失明し全盲となる。

盲ろう者や視覚障害者の支援技術をはじめ、障害学、福祉のまちづくりなど、バリアフリーに関する研究に従事。

近年は、特定非営利活動法人バリアフリー映画研究会の理事長として、映画のバリアフリー化に関する研究・実践にて国の障害者政策にも参画している。



西原孝至 氏 映画監督

1983年、富山県生まれ。早稲田大学卒業。映画美学校ドキュメンタリー高等科修了。

2014年の『Starting Over』は東京国際映画祭をはじめ、国内外10ヶ所以上の映画祭に正式招待され、高い評価を得る。『わたしの自由について～SEALDs 2015～』は北米最大の国際ドキュメンタリー映画祭 Hot Docs に正式出品。最新作は『もうろうをいきる』。現在、TVドキュメンタリー番組のディレクターとしても注目を集めている。



橋本二郎 氏

二郎治療院経営(施術内容は主に針・マッサージ)

1976年岐阜県生まれ

幼少期より見えにくい、聞こえにくいと感じるが、基本的にはほかの人たちと変わらない生活を送っていた。建築関係の仕事に就くが運転ができなくなったり文字が読めなくなり、退職する。28歳で岐阜盲学校に入り、鍼灸マッサージ師の免許を取る。名古屋で10年ほど訪問マッサージなどの仕事を経て、今年7月岐阜に治療院を開業する。



必要事項を記入してFAXで申し込む

052-841-2221



ホームページ・QRコードから申し込む

<https://goo.gl/forms/ouIMEhC5mezhlA7f1>

ご氏名	所 属	
電話番号	アドレス	

※お預かりいたしました個人情報は、本事業の連絡以外には使用いたしません。※複数名のお申込みをされる方は、お手数ですが本用紙をコピーしてお使い下さい。